

メディーチャ
リラクゼーションスタジオ事業「Medicha」始動

「新事業提案制度」から生まれた、忙しいワーカーを応援するリラクゼーションスタジオ開業へ

三菱地所株式会社は、従来の不動産業にとらわれない幅広い事業を育成することを目的として、2009年より社内で広く公募する「新事業提案制度」を実施しています。この度、同制度を通じ、都会のワーカーをメインターゲットとしたリラクゼーションスタジオを運営する「Medicha（メディーチャ）株式会社（代表取締役：長嶋 彩加／山脇 一恵）を設立、本年6月1日に東京・南青山にて新たにリラクゼーションスタジオ「Medicha」を開業します。



AOYAMA TOKYO

▲「Medicha」ロゴ

「Medicha」は、長時間労働で多くのストレスに晒されている都市生活者に対し、メンタル面でのコンディショニングプログラムを提供するスタジオです。プログラムを通じ、すべての人に本来備わっている「みずみずしい感性」を刺激し、仕事や将来に対するモチベーションを高め、自分と向き合う贅沢な時間を定期的に持つて頂くことを目指します。

欧米で人気広がっており、注目を集めているメディテーション（瞑想）*スタジオを日本版にローカライズし、メディテーションの基本的効果を中心に据えつつ、五感を刺激する没入体験型のリラクゼーション空間を用意しました。一般的なメディテーションスタジオは、瞑想のみを行う空間提供が主流でしたが、「Medicha」では、メディテーション前・後の環境にも着目して、五感を刺激する没入体験型のリラクゼーション空間を用意し、総合的なメンタルコンディショニングを提供します。

本事業は、三菱地所の新規事業提案制度にて提案・採択され実現に至りました。2009年より開始した同制度では、いままで90件超の提案があり、そのうち本事業を含む10件が事業化に至りました。本事業では事業提案者2名が代表取締役に就任するほか、初の試みとなる有償ストックオプション制度を導入する予定です。

三菱地所は、新事業提案制度を通じた社員のチャレンジを後押ししてきたほか、コーポレートアクセラレータープログラムによるベンチャー企業との協業機会の模索など、グループの総合力を活かし様々な既存事業の強化・ビジネスチャンス創出を目指してきました。今後も年代・役職・会社の枠を超えたチャレンジを続け、ビジネスモデルの革新を進めます。

*メディテーション…英語で「瞑想」の意。静かな空間で心身ともにリラックスさせ自分自身と向き合うことで、ストレス低減・集中力向上・創造力向上・対人コミュニケーション向上など、ビジネスパーソンに嬉しい効果があるとされています。

■リラクゼーションスタジオ「Medicha」の特徴

- ・ 専門家と共同で開発した、心理学に基づいた瞑想プログラムを提供。
- ・ 瞑想プログラムのみを提供するのではなく、瞑想前・瞑想中・瞑想後には、没入する感覚を5感で味わっていただける空間・コンテンツを用意。
- ・ 店舗内には、三菱地所ホームの空調技術「エアロテック」を導入。どこにいても均質な温度調整を実現し、リラクゼーションの効果の向上を図る。

(参考) <https://www.mitsubishi-home.com/custom-home/aerotech/>

●一般的なメディテーションスタジオ



●Medicha のリラクゼーションスタジオの場合



五感を刺激する①導入→②瞑想→③リラックスの一連の流れで、瞑想の効果の最大化を目指す。

■Medicha 株式会社について

会社名	Medicha 株式会社（読み方；メディーチャ/ 英語表記；Medicha Co., Ltd.）
所在地	〒100-8133 東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号
設立日	2019 年 4 月 1 日
資本金	資本金 1 億円
主要株主	三菱地所（100%子会社）
事業内容	メディテーションおよびリラクゼーション関連スタジオの企画開発・運営など
役員	代表取締役 長嶋彩加（事業提案者） 代表取締役 山脇一恵（事業提案者）
旗艦店所在地	東京都港区南青山 5-3-18 BLUE CINQ POINT（ブルーサンクポイント）C 棟 B1 （東京メトロ銀座線・千代田線「表参道駅」徒歩 3 分）

©Open Street Map Contributors

開業	2019 年 6 月 1 日（予定）
URL	https://medicha-jp.com/



▲周辺案内図

【代表取締役（事業提案者）コメント】

代表取締役 長嶋 彩加（2013 年度三菱地所入社）

代表取締役 山脇 一恵（2013 年度三菱地所入社）

女性を中心に、肩肘を張ってついつい日々頑張りすぎてしまうワーカーに向けて、スキマ時間に心からほっと一息をつけるごほうびを提供したいという想いから事業提案に至りました。

五感が研ぎ澄まされた状態で自分と向き合う時間を提供し、多くの人が“もっと自分らしく、もっとわがままに、やりたいことは全部やる”というビュッフェ型のライフスタイルを選択出来る社会を作っていくことを目指します。

以上